北陸学院
中学校・高等学校

6年間の人格教育で「なりたい自分」を学ぶ

Realize Your Mission

卒業生 × 教員インタビュー

「ミッション」の名で親しまれる北陸学院は、1885年の創立以来、キリスト教を土台に、一人一人が自分の使命を実現できる進路へと導く教育を追求しています。同学院の中学校と高校で学んだ卒業生お2人と中学校の岡崎裕一教頭の座談から、中高6年間で生徒に育まれる力について紹介します。

profile

北陸学院中学校・高等学校
中学校教頭
岡崎 裕一 Okazaki Yuichi
金沢大学教育学部情報教育専攻を卒業。2008年に北陸学院高等学校に着任し、物理の授業を担当。2016年から中学校の教頭も務めている。

関西学院大学 人間福祉学部
人間科学科 4年
下山 愛依 Shimoyama Mei
中高と北陸学院で学び、高等学校を2022年3月に卒業。大学ではアメリカでの短期インターンシップも体験し、海外で活躍できる仕事を目指している。

大阪成蹊大学 国際観光学部
国際観光学科 4年
松井 瑠菜 Matsui Runa
中高と北陸学院で学び、高等学校を2022年3月に卒業。強豪大学のバトントワーリング部でキャプテンを務めた。チームワークが発揮できる業界への就職を希望。

同じ校舎で学ぶ先輩に憧れ、高校も北陸学院へ

岡崎 私が北陸学院高等学校の教員を務めながら、中学校の教頭になったのが2016年でした。お2人はちょうどその年に中学校に入学した1年生で、個人的にも中高の6年間を通じて成長を見守った初めての学年として思い入れがあります。お2人とも中学校と高校では別の部活動をしていましたね。

下山 そうですね。私は中学校ではバトントワリング部で、高校では軽音楽部とシャローム部※を掛け持ちしていました。中学2年にはカナダへ2週間の短期留学をしましたが、高校時代はコロナ禍で海外に行けなかったのが残念です。

松井 私は、中学時代は硬式テニス部でしたが、高校に進学してからバトン部に参加しました。

岡崎 バトン部は中学校と高校の合同の部活動ですが、お2人はちょうど入れ替わりで所属したんですね。そのほかにも中高で一緒に取り組む活動が多いことは、北陸学院の大きな特徴の一つと言えるでしょう。中学時代にはすぐ近くで学んでいる高校生の先輩方の姿に影響を受けたこともあったのではないですか?

※シャローム部
地域の公民館や学童保育に出向いてのお手伝い、地域の清掃活動、校内のカフェ運営などのボランティア活動をしています。

松井 私はまさにそうでした。バトン部に入ったのは、野球部の応援などで先輩たちの活動する姿に憧れたからです。

下山 普段から同じ校舎で過ごしていたので、「こんな高校生になりたい」と思う理想像をイメージしやすかったです。高校生活の様子が自然と伝わってきたことも、継続進学を決めた理由の一つになりました。

岡崎 なるほど。高校ではほかの中学校からの生徒も加わって、環境に変化があったと思います。中学時代と違いを感じた点、逆に変わらないと感じた点はありましたか?

松井 中学校では全体の生徒数が少ない中で、少人数で何かをやり遂げる喜びを学びました。高校では生徒数が中学校の数倍に増えて、いろんな個性を持ったメンバーと一緒に、粘り強く努力する大切さを学べたように思います。

下山 高校でも教育方針は中学校と変わらないし、先生方の顔ぶれも共通しているので、続けて教わることができる安心感がありました。毎朝の礼拝では心に響く言葉をたくさん聞いて、中でも「隣人を愛しなさい」との教えから、「人を支える仕事がしたい」という将来の目標を見つけることができました。それは自分が人生で果たすべき「使命(ミッション)」にもつながっていると感じます。

親身に関わる教員と共に、自分の中の「賜物(たまもの)」を磨く

岡崎 私たち教員にとっても、中学校から高校まで皆さんの成長に関わることができるのは喜びです。高校から入学した生徒に対してもですが、親身に向き合って人間的な力を引き出す教育を心掛けてきました。高校時代は教員とはどのように接していましたか?

下山 授業や自分の学習で分からないことがあったら、すぐ職員室へ行って、先生に聞くようにしていました。いつも優しく丁寧に教えてくださるのがうれしくて、楽しく勉強することができました。3年生になって大学受験や進路を決める際にも、先生方が私たち一人一人に寄り添ってサポートしてくださいました。

松井 私たちの学年は高校時代にコロナ禍だったので、2年生以降はバトン部の大会も全部中止になってしまいました。全国大会出場に向けて頑張ってきたのに、目標がなくなってしまったことを悔しく感じていたら、顧問の先生がバトン部のある大学を紹介してくださって、卒業後も大学でバトンを続けるきっかけになりました。

岡崎 そうだったんですね。中高の6年間の学びや教員からの働き掛けが、今もお2人の目指す道を支えていることを知って感慨深く思います。

北陸学院では、中学校の3年間は伸び伸びと学校生活を送りながら自分に与えられた「賜物(力や個性)」に気づき磨いていく時期、高校の3年間は広がった人間関係の中で社会性を学びながら自分が他者に対して何ができるかの「使命」を見出していく時期だと捉えています。

お2人にとっても、中学校入学から現在までの約10年間には、コロナ禍などもあって、在学中から数多くの迷いや悩みにぶつかることがあったでしょう。それでも、そんな経験の中から自分が大切にしたいものや目指したいものを見つけて、今もそれを磨き続けてくれていることを何よりもうれしく心強く感じています。6年間で育んだ「賜物」を大切に、これからも自分の「使命」に向かって頑張ってください。

2026年度 入試日程

高等学校

推薦入試 1/10(土)
web出願手続
2025 12/1(月) 9時 ～ 2026 1/5(月) 16時
出願書類提出
2026 1/5(月)～1/7(水)

一般入試 1/30(金)
web出願手続
2025 12/1(月) 9時 ～ 2026 1/20(火) 16時
出願書類提出
2026 1/16(金)～1/23(金)

※出願書類受付は平日:9時～16時まで 最終日:9時～正午まで

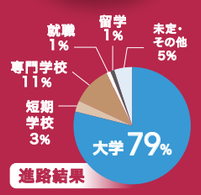
入試情報はこちら▶

中学校

入学試験 1/10(土)
出願書類提出
2026 1/6(火)～1/7(水)

入試情報はこちら▶

2025年度入試 合格実績



国公立大学
金沢大学 1名
富山大学 1名
新潟大学 1名
石川県立看護大学 2名
公立小松大学 3名
長岡造形大学 1名

大学校
防衛大学校 1名

私立大学
同志社大学 11名
関西学院大学 8名
関西大学 3名
青山学院大学 1名
明治学院大学 5名
立教大学 1名
上智大学 1名
※過年度生を含む

合格実績一覧

特別推薦枠で、憧れの難関私立大学へ
同志社大学 17名分
関西学院大学 23名分
明治学院大学 6名分
ほかにも全国に 約180大学・約900名分の指定校推薦枠を有しています。
※募集枠は毎年変更があります。
詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

北陸学院大学への学院内推薦による進学者には充実した特別な奨学金があります。

北陸学院中学校
北陸学院高等学校
〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学／TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校／TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398

北陸学院は2025年に140周年を迎えました。

月刊北國アクタス2025年12月号掲載記事

https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう